

令和3年度 事業計画

令和2年度も、当会の諸事業・行事に多大なご理解・ご協力を賜り、無事終了することができましたこと、会員・賛助会員・関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

令和2年度は6月28日に開催されました第2回定時総会におきまして、役員の変更が行われ、会員の皆様にご挨拶をいたしました。大澤智彦前会長の後任として、一般社団法人山梨県臨床検査技師会会長（代表理事）として選定をいただき、事務局移転・理事の変更など一新となり、新たな船出を迎えました。

昨年初めより発生した新型コロナウイルスという新たな感染症拡大により日本のみならず世界中が大変な状況となり、医療現場は医療崩壊にも陥りかねない危機的状況を経験した中で、会員の皆様は大変なご苦勞をされていることと存じます。

梨臨技では、職能団体として私たちに与えられた使命は、学会や専門研修会の開催はもちろんではありますが、検体採取講習会や認知症対応力向上講習会、多職種連携事業への対応を行ってまいりました。更に新人研修や組織・地域間の連帯の強化、行政や大学、関連団体との連携も強化して行かねばなりません。また、女性技師の活躍を応援し、国際学会での発表や国際支援にも力を注いでいきたいと思っております。さらには、臨床検査技師が、顔が見え、認知され、さらに県民に必要とされる職種となるよう技師会運営に努めていきたいと考えます。

昨年6月のYouTubeで「新人研修会」・総会を皮切りに、日臨技からの委託事業である公益事業として、全国展開している11月の「検査と健康展」は、新型コロナウイルス感染防止として規模を縮小して、感染予防を徹底したうえで高校生のみへ臨床検査技師の職種説明と検査体験を実施したところ18名が参加しました。今年度も継続します。「検体採取実技・災害対策研修会」が開催され、「リフレッシュ研修会」、「学術講習会」、「STI/HIV 予防啓発キャンペーン」を新型コロナウイルス感染拡大のため開催できませんでした。しかし、感染収束の際には開催できるよう願っています。

従来の「がん予防啓発活動」「HIV/STI 予防啓発活動」キャンペーンは若梨部会員での実施が定着し、県健康増進課との共催で今年も、VF 甲府のJ1復帰を目指して応援しつつ開催する予定です。対面での講習会や研修会以外に、「三密」を回避したオンラインでの会議や研修会といった新しい様式で開催可能な環境作り（マイク、Zoom ライセンス取得）を提供してまいります。3月にYouTubeで「山梨臨床検査フォーラム」を開催しました。県医学検査学会は、甲府D地区の担当でWEBと現地開催のハイブリッド形式（Zoom 研修と会場）で開催されました。令和3年度はE地区の担当となります。会誌の発刊も視野に学術向上・技術の研鑽、会員同士の絆を深めてまいります。

災害対策も強化しなくてはなりません。当会は、県と「大規模災害時における人材派遣の協定」を結び、避難所等における健康検診を行うための継続的に訓練も実施いたします。また、若手技師の会「若梨部」も新たな発想、学術研鑽や相乗効果を持ち、ニューリーダーを育成できるよう支援してまいります。今後も国際学会での発表や国際交流、国際支援などにも力を注いでまいります。また、各種認定の取得に対しても、応援できる体制を整

えたいと思います。

今年度も日臨技及び、支部内や各県と連携を図り、更に行政とのつながりを強化し、地域医療及び公衆衛生の向上と医学検査の発展に努めます。

令和3年度の山梨県技師会は、以上のことを踏まえ、当会の目的を着実に推進すべく、下記の基本方針を軸に、公正で透明性の高い運営を目指します。

- 基本方針
- (1) 学術活動の推進
 - (2) 人材育成（国際活動支援含む）
 - (3) 組織の強化・活性化
 - (4) 情報網の整備
 - (5) 公益事業の推進と他関連団体との連携強化
 - (6) 県技師会主催事業の開催

1. 学術活動の推進

学術は、技師会活動の根幹を占めることから、学術部研究班活動を中心に、多くの会員が積極的に研修会に参加できるよう企画する。医学検査学会はE地区担当で開催される。山梨臨床検査フォーラムを更に充実していく。日臨技が医療保険制度改革や医療提供体制の見直しや医師の働き方改革を実践するためタスクシフト・タスクシェアリングに関する研修会に取り組んでいく。また、関甲信支部・首都圏支部と連携をとりながら、更なる学術研修会の推進を図る。精度保証認証については、認証取得施設の普及を図りたい。共用基準範囲使用の普及も進める。

2. 人材育成（国際活動支援含む）

就職から5年程度の会員を対象とした新人教育として公益事業への参加と研修会を実施し、日臨技及び公益活動への理解と、夜間・休日の検査ポイントの知識向上を図る。更に、「若梨部」を将来の技師会や施設を担って立つような人材育成するため支援していく。学会抄録集がJ-STAGEに登録されたので、論文投稿にも協力していきたい。また、国際学会・国際交流・国際支援などへの活動に対しても積極的に支援していく。

3. 組織の強化・活性化

地区理事を中心とした地区活動の強化・親睦を図り、技師会未加入技師の入会を図る。技師連盟への加入推進を図る。OB会『銀の輪』の普及と加入推進を図る。今後、更に会員の比率が増す女性会員も積極的な技師会活動への参入を推進する。

4. 情報網の整理

新型コロナウイルス感染拡大の教訓から、情報管理部・学術部と協同してオンラインでの情報ネットワークを構築し、学会、研修会や会議など実施できるよう強化していく。HP

の個人情報の保護・セキュリティ強化に努め、広報部と協働し、HPの更なる充実と迅速かつ的確な情報提供を推進する。

5. 公益事業の推進と他関連団体との連携強化

日臨技委託公益事業である「検査と健康展」の更なる充実、「がん予防啓発キャンペーン」「STI/HIV 予防啓発キャンペーン」による県民への健康増進活動で関連団体と連携し充実を図る。「がん予防啓発キャンペーン」では県健康増進課・放射線技師会と密に連携し、県民の健康増進の向上に寄与する。関連団体とは積極的に連携を図り、開かれた技師会を目指す。主に、例年同様、下記各種行事・事業への共催・参加・協力を促進していく。

- 1) 山梨県医師会精度管理調査事業
- 2) 山梨県健康増進事業への参加・協力
- 3) 日臨技及び関甲信支部、首都圏支部との連携・協力
- 4) 山梨県臨床検査医学研究会の共催
- 5) 医療関連団体、学会との連携・協力
- 6) 公益事業の推進・共催、公衆衛生向上への寄与

6. 県技師会主催・担当事業の開催

- 1) 県医学検査学会 担当；E地区（山梨大学附属病院・ジャパンメディカル・武川病院・保健科学研究所・どちペインクリニック）
- 2) 学術講習会 担当；峡東地区・峡南地区
- 3) リフレッシュ研修会 担当；峡北地区・郡内地区
- 4) 人材育成研修会（新人教育研修会・地域ニューリーダー育成講習会等）
- 5) 山梨臨床検査フォーラム
- 6) 検査と健康展
- 7) HIV/STI 予防啓発キャンペーン
- 8) その他